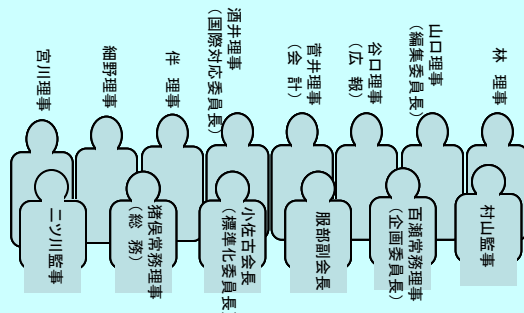


# (社)日本保健物理学会理事会の活動

日本保健物理学会理事会



平成23年度の理事会は、会長1名、副会長1名、常務理事2名、理事8名、監事2名で活動しています。

## 2. 理事会の役割

- (1) 学会の運営に必要な事項の審議及び決定(理事会を年2回開催するほか、執行理事会、メーリング理事会懇話会を適宜開催)
- (2) 会員の入退会、企画行事等の承認
- (3) トピックスの事項への対応(臨時委員会等を設置し、検討)
- (4) 時々の状況・要請に応じた規定類の制定及び改定
- (5) 予算の編成、決算報告及び会計監査
- (6) 国際放射線防護学会(IRPA)やアジア・オセアニア地区放射線防護学会(AOARP)との連携の推進
- (7) 各種団体(日本学術会議、日本放射線連合、他学会等)との交流の推進

## 3. 最近の活動(定常的活動以外)

- (1) 学会創立50周年を迎え、一般社団法人化を達成しました。(2011年8月)
- (2) 福島事故対応として、一般向けの暮らしの放射線Q&Aサイトを、学会ホームページ上に開設しました。
- (3) 福島事故対応シンポジウム(6月、8月、12月)を開催し、福島事故セッションを設けた第44回研究発表会(2011年10月、水戸)を成功裏に開催しました。
- (4) IRPA13(2012年5月、英国)の若手研究者賞候補者1名を公募により推薦しました。
- (5) 表面汚染測定を用いたクリアランスの判断方法についてのガイドラインを制定しました。
- (6) 韓国や中国の放射線防護学会等との協力関係の構築を推進し、本学会からAOARP会長を選任するなど、国際的活動を強化しています。
- (7) インターネットやメールによる情報の共有化に努め、学会メーリングリスト機能を見直しました。
- (8) 意欲ある学生の学会活動への参加を促進するため、「学友会」活動を進めています。
- (9) 若手研メンバーの理事会参加など、学会活動の活性化を進めました。
- (10) 活動範囲の拡張、財政強化、支出抑制などの具体策を検討しています。
- (11) 本会学会活動と関連した他機関の研究會等の協賛、後援を行いました。

## 会員数

会員種別	H23年3月末
正会員	852
正学生会員	24
準学生会員	103
名誉会員	6
特別会員	41
賛助会員	57
団体会員	41

## 4. 今後の主な計画

- (1) 理事会及び常設の企画委員会、編集委員会、国際対応委員会、放射線防護標準化委員会ならびに各種専門研究会の活動を積極的に行います。
- (2) IRPAの日本を代表する学会として、産・官・学、関連 諸団体との連携及び協力を蜜にし、会員の拡大に努めます。
- (3) 若手研究者が学会主催のシンポジウム等で発表する機会を増やすなど、若手の視点から学会活動の活性化をはかります。また、学生会員による学友会活動を積極的に支援します。
- (4) 一般社団法人として学会の活動基盤の強化をはかります。
- (5) 第45回研究発表会(2012年6月、名古屋)を成功裏に開催します。
- (6) IRPA13(2012年5月、英国)に向けて、AOARP加盟国をはじめとする諸外国との交流を促進し、国際的な連携の強化をはかります。
- (7) わが国における放射線防護基準等を合理的なものとするため、放射線防護標準化委員会の活動を強化します。
- (8) 学会誌「保健物理」の国際的認知度を高めるとともに、「News Letter」及びホームページ等により、有益な情報を会員及び会員外に提供します。